



今回私はいろんな角度から「分析」について考えてみたい。

先日、テレビ番組「音楽王!!」で、モーツァルト」で、音楽スゴ技の豪華対決があった。ピアノ王では話題の新垣隆氏などが参加し、超速弾きで競う。審査員は人間ではなくコンピューターの解析だ。数千個の音を瞬時にチェックし、正確さを判定する。

ピアノリストの演奏が急速にスピードアップし、我々視聴者はハラハラドキドキ。決勝では、本命の外国人男性を日本人女性がわずかの差でかわした。通常、ピアノ演奏は芸術的尺度で専門家が評価する。一方、音楽をスポーツととらえ、是非はともかく従来なかった試行だったといえよう。

引き続き、カラオケ王の部門に。小学生からプロまでトップクラスの歌

手がエントリーし、いろんなジャンルの曲で競演する。小中学生がミュージカル女優にチャレンジ！歌声や表現力による優れたパフォーマンスに酔いしれた。

審査はカラオケ採点システムにより音程や抑揚、表現の各項目を分析して点数が合計される。デジタルの評価法で、99・x x x点と小数点以下3桁というレベルで勝ち抜いていく。

通常ならありえないプロとアマとが競う姿。子供から高齢者まで、老若男女の誰もがそれぞれの感性で楽しむことができる。小中学生はチャンスをつかんで未来に向けて成長し、プロは若年層から刺激を受け、お互いに切磋琢磨して技も心も鍛えていく。

あなたも、カラオケボックスで同じような経験があるのでは？ 人気グループ

緩める、relax、loose)と、ばらばらに解く、解き明かすことだ。

満型・闘士型の三類型で説明。欧州では、学者、芸術家、商人タイプなどと大別することも。これらは大まかな傾向を示すものだが、アナログ的で数値がなく比較が難しい。

一方、米国ではエゴグラムという分析法がある。人の心には①厳しい父親②優しい母親③冷静なコンピューター④天真爛漫な子供⑤人の目顔をみる子供という5個のエゴ(自我)が存在する。各自が育った環境により、誰もが①②③④⑤を使い分けてきた。デジタル的で、各項目のデータによって分析や研究が可能となる。たとえば、待ち合わせに相手が30分遅れてきた場合、あなたの心にある①②③④⑤はどう考えるだろうか？

このように、物事を小さな要素に切り刻んでいく方法を分析 (analysis)と呼ぶ。分析とは斧で木を割るという意味で、問題解決とは「分ければ判る」ことになる。英語の analysis を語源からみると ana (全体) + lysis (解く、

PSMAP (Sports Music Assembled People)と同様に、「スポーツと音楽が合体した人々」を目指し、皆で一緒に歌い踊ることに。その際、採点という「遊び心」を加えると、さらに盛り上がるだろう。

いま、秋葉原のファッションやおたく文化を含むサブカルチャー「アキバ」が経済、資産、価値などの尺度で分析されている。今後、欧米の価値判断で活動に制限が加えられる可能性もあり、少々心配に思う。

さて、物事の評価には、全体を総合的にみたり、細かな因子に分けて判断したりする場合がある。たとえば、心理学では、ドイツの医学者クレッチマーが体格と気質の関係をやせ型・肥

↓統合という推移がみられる。近代医学では当初、一人の医師が患者を担当した。その後専門分化が進み、各医師が各臓器を診療し、調子が悪い車で各パーツを入れ替えて寄せ集めるようなことに。ただ、人間は本来「心身一如」で、細分化への危惧や反省が生まれた。近年、患者と家族を包括的に診る総合診療が求められ広まっている。

なお、ピアノリストも常に分析している。楽譜を細かく解釈するアナリーゼによって曲の構成を理解し、演奏を深めていくのだ。



先日、あるコンサートが武道館で行われ、ライブで全国放送された。女性歌手はかわいくて歌も上手。ただ、根本的に異なるのは、彼女が仮想現実の世界に存在していることだ。

バーチャルアイドルの「初音ミク」とは「ソフトウエア」の名称も兼ね、歌詞とメロディーを入力すると歌と映像を創造できる。今回の「マジカルミライ2015」を私はテレビで見ながら、不思議に感じていた。

何がこれほど人々を夢中にさせるのか？ いったいどのような要素があるのか、分析してみたい。

- ・自分の気持ちや歌の中で表現されているので共感できる
- ・ミクの歌い方や仕草が自身の心にととくる
- ・初音ミクが語る未来も、映像も雰囲気も魅力的に感じる
- ・自分のオリジナルソングの歌と映像を広く発信できる

実際に会場で共に歌い踊ると、トランス状態になって現実を忘れられるいろいろな分析可能だが、あなたは どう思うだろうか？